科目コード	E2166	科目名	乳児保育Ⅱ				
履修区分	選択	開講期	3年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	権田　あずさ						
授業の概要	３歳未満児の個々の子どもに応じた保育者の援助や配慮等について学ぶ。また，３歳未満児の発育・発達を踏まえた保育計画の立案や環境設定を構想する。						

DPとの関連	①平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける	△
	②人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける	◎
	③修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける	○
	④教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける	○
	⑤社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力	△
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	①　３歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解できる。 ②　養護及び教育の一体性を踏まえ、３歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解できる。 ③　乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解できる。 ④　上記①～③を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解できる。
履修上の注意事項	保育士資格必修科目

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	３歳未満児における保育者との関係の重要性	事前：シラバスの内容を確認しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
2	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり	事前：子どもの個性や発達差について確認しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
3	子どもの生活や遊びを支える環境の構成	事前：３歳未満児の保育環境について調べておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
4	３歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助	事前：３歳未満児の発育・発達を確認しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
5	３歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助	事前：３歳未満児の遊びを確認しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
6	子ども同士の関わりとその援助	事前：３歳未満児同士の関わりについて調べておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
7	乳児保育における配慮	事前：３歳未満児の配慮事項について確認しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。
8	乳児保育の指導計画	事前：3歳未満児の保育計画案を検討しておく。事後：講義内容について再確認し，資料やノートを整理する。

成績評価方法	授業内課題50%、授業への参加（発言や実演など）50%

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書		
参考書	『アクティブラーニング対応 乳児保育Ⅱ:	『　978-4893473196
	『よくわかる！保育士エクササイズ5	978-4623086429
	『保育所保育指針解説〈平成30年3月〉』厚生労働省（フレーベル館）	978-4577814482

教員からのメッセージ	
教員との連絡方法	掲示板（教職員への問い合わせ）またはメール（azugon@hcu.ac.jp）
実務経験のある教員	